

岡崎市 予算

2013年度(平成25年度) 日本共産党の提案、一定の前進

2月18日、市議会全員協議会で、2013年度岡崎市一般会計、特別会計、企業会計予算の概要説明がありました。

自主財源となる、市税収入は、個人法人ともにのび、前年比5.8%増(15億円増)の278億9千万円を見込んでいます。

また、歳出では藤川道の駅、翔南中学校、東岡崎駅第一期工事の終了によって、普通建築費の減額があり、前年比36%の減(63億3千万円減)となっています。

日本共産党市議団の提案が予算化

日本共産党が公約し、議会で

何度もとりあげてきたこともいくつか計上されました。

- 私立高校生授業料補助金の復活(ただし所得制限あり)
- 子どものワクチン(ヒブ、子宮頸ガン、肺炎球菌)接種の無料化
- 高齢者肺炎球菌ワクチン接種への助成
- 太陽光発電補助増
- 地域包括支援センターの増設
- 五万石おどり補助の拡大
- 小学校トイレ改修

などが盛り込まれました。

しかし、その一方で、第三子保育料の無料化が所得制限に

よって一部有料化になるなどの、福祉の後退部分もあります。

市長の公約・新施策も

市民の目線で市政をチェック

内田市長が公約したツインブリッジ(リバーフロント計画)の

ための基礎調査費1500万円が盛り込まれています。説明によれば、殿橋と明大橋の道路幅を広げ、観光スポットとして石のモニュメントやベンチを置いたり、観光のスポットにするというもの。

「観光都市を目指す」内田市長は、菅生曲輪が発掘された旧岡崎公園グラウンドに郭を復元するための調査検討費用1400万円も盛り込みました。

昨年休止した五万石おどり・みこしは民間主導の「岡崎徳川五万石祭り(仮称)」にリニューアルし、市の補助金を2400万円(昨年は400万円)にします。

廃止の事業も

また、毎年約400件の利用があったにもかかわらず、チャイルドシートの貸し出しは廃止となります。

議会を改革して

市民の声とどく議会に

これらの市長の施策を、市民の目線でひとつひとつチェックす

るのが議会の役割です。

2月28日から3月27日まで行われる市議会で、日本共産党岡崎市議団は「市民の目線」で調査を行い、皆さんに詳細をお伝えしていきます。

議会の役割果たせるか?

県下最悪の議会運営

岡崎市議会の議会運営は県下でも最悪です。

3月議会は、委員会に質問時間制限を設けるなど、活発な議論を妨げる議会の自殺行為とも言える議会運営が続いています。

12月議会に引き続き、本会議での議案質疑をすべて凍結しています。これでは、市民から託された願いを議会の場で十分審議・論議することはできません。

日本共産党市議団は昨年11月にこれらの議会の改革を求める申し入れを議長に対して行いました。

2013年度岡崎市予算

	予算額	前年比
一般会計	1063億7000万円	▲4.8%
特別会計	578億5267万円	+2.1%
企業会計	524億9519万円	+9.0%
総額	2167億1786万円	+0.1%

性質別歳出の主なもの(一般会計)

		構成比
扶助費	253億1825万円	23.8%
人件費	205億2422万円	19.3%
物件費	190億8924万円	17.9%
普通建設事業	111億6765万円	10.5%
補助費	105億9235万円	10.0%

歳入の主なもの(一般会計)

		構成比
市税	278億9168万円	44.4%
譲与税 交付税	52億7899万円	5.0%
地方交付 税	15億5000万円	1.5%
国庫 補助金	123億3350万円	11.6%
県 補助金	62億5538万円	5.9%
前年度 繰越	51億5728万円	4.8%

視察報告 鈴木まさ子市議 ジャズの街へ仙台市



仙台市で毎年秋に行われているジャズストリートは

市役所前の定禅寺通りや勾当台公園を中心に、市内48カ所にステージが設けられ、22回目を迎えた昨年は769グループが参加してジャズなどの演奏が行われ84万人の観客を動員しています。市からは200万円の補助金がでていますが、毎年実行委員会を組み、ボランティアやサポーターをつのり、カンパや協賛金を集めるなど総額約6千万円の事業です。

岡崎市でも300人が演奏

岡崎市では、内田修ジャズコレクションの寄贈をきっかけに「岡崎をジャズの街に」という動きがはじまりました。現在11月の市民祭りの2日間でのジャズストリートは第7回目を数え、昨年は15カ所でのべ300人が演奏しました。

音楽が市民に根付いている仙台

仙台市のストリートジャズフェスティバルは、一人の音楽専門家（榎原光裕氏）が、「本来、音楽は野外でやるもの」との提案から、地元商店街の人たちと共同して現在の形態となりました。1991年に第一回

音楽は平和の象徴

岡崎でも、市民の手で「岡崎をジャズの街に」という動きが広がっています。専門家の力を借りながら、岡崎市を市民の力で平和の象徴である音楽であふれるまちにしていければ、と感じました。

合併を重ね広大な岡崎

岡崎市は、1889年（明治22年）町村制施行に伴って額田郡30町村を合併をて岡崎市が発足しました。1916年（大正5年）男川村・広幡町等を編入して岡崎市の市政施行となり、さらに昭和の64年間に4回の合併で岩津・福岡・矢作・六ツ美町等を編入し拡大してきました。2003年（平成15年）中核市となり、2006年（平成18年）には額田町を編入合併し市域も387平方キロと広大な面積となりました。

市民みんなが祝う市政100周年に 議会特別委員会から（きまた昭子）

岡崎市議会市政百周年特別事業検討委員会がスタート

市民が岡崎市を誇りに
思える事業に
みなさまのご意見を
お寄せください



委員会の意見では

- 内外に岡崎市を位置づけるために徳川家康の生誕地・ジャズの町・八帖みそを。
- 100周年の節目に立ち会える市民、次世代のこどもたち。市民が主役・市民総参加の事業を。
- 全市域で実行委員会を作つてなにをやるかきめる。
- 一過性のものでなく
- 各界各層が参加できるもの
- 市民の意見を募集する

などです。

70周年記念の葵博など一過性のイベントや「何々記念」を冠にした事業を行ってききました。

党市議団は、100周年にあたって市民が岡崎市を誇りに思い、岡崎市の歴史を実感できるように、広く市民公募で事業企画などを2016年まで作り上げていきたいと考えています。岡崎民報をお読みの皆さまのご意見を是非お寄せ下さい。

ママの願い届く政治を 党県くらし環境部長 もとむら伸子



「どんな日本にしたい?」1月

25日、小さい子供を持つママさんたちと懇談しました。0歳～5歳の子どもたちも参加したわきあいあい楽しいこの集いは、名東区の共産党女性後援会の企画です。

「子どもが将来まともな仕事、幸せにくらせる社会にしたい」「やっぱり戦争のない日本と世界にしたい」「高齢になっても安心して暮らせ、子どもたちがあこがれるような社会にしたい」「原発のない未来」などの声。

ママたちの願いを阻むモノは何か、一緒に考えました。

若者の2人に1人が非正規雇用で、年収200万円以下のワーキングプアは1069万人に増えています。歴代政権が財界言いなりに“働くルール”を壊して来たからです。

安倍政権の元で、むだな大型開発など大企業優遇の政治がすすみ、安心できる老後も奪われようとしています。

アメリカいなしの政治によって、日本はイラク戦争に荷担し、今、憲法9条が変えられようとしています。

財界・アメリカいなしの政治を変え、ママさんたちや国民の皆さんの願いがまっすぐ届く政治をなんとか実現したいと思います。

各地の集いに参加したかわいい子どもたちの笑顔からがんばる勇気と元気をもらっています。